



Alleanza

2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月12日

上場会社名 アレンザホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3546 URL <http://www.alleanza-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅倉 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 三瓶 善明 (TEL) 024-563-6818
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	40,363	0.8	2,379	△13.2	2,497	△12.3	1,610	△8.3
2021年2月期第1四半期	40,060	26.3	2,740	172.5	2,848	164.6	1,756	183.0

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 1,631百万円(△8.7%) 2021年2月期第1四半期 1,787百万円(185.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2022年2月期第1四半期	53	58	53	47
2021年2月期第1四半期	58	53	58	41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	79,852	26,080	31.2
2021年2月期	80,489	25,066	29.7

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 24,941百万円 2021年2月期 23,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2021年2月期	—	16.0	—	20.0	36.0
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	18.0	—	18.0	36.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	79,000	△2.5	3,400	△39.5	3,600	△38.8	2,200	△41.9	73.21
通期	154,000	△2.2	5,100	△38.9	5,500	△38.0	3,300	△35.9	109.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年2月期1Q	30,193,386株	2021年2月期	30,168,966株
2022年2月期1Q	116,789株	2021年2月期	116,068株
2022年2月期1Q	30,055,357株	2021年2月期1Q	30,008,055株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対して国内でのワクチン接種も開始され収束に向けた期待感が見えてきたものの、感染の再拡大を受けて、政府によるまん延防止等重点措置、緊急事態宣言の再発出や期間延長措置が講じられるとともに各自治体においても各種施設の休業、営業時間短縮が要請されるなど経済への影響も長期化しており依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、コロナ禍の環境下で主力事業であるホームセンター店舗、ペット専門店の営業において、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒の完全実施、呼びかけ等の感染防止策を徹底し、従業員とお客様の安全を確保したうえで、安心してお買い物をしていただける店舗の環境作りに取り組み、地域のお客様への生活インフラとして生活必需品の供給に継続して注力して参りました。

また、「新たな生活様式」の定着化による在宅時間いわゆる「おうち時間」の快適な生活に役立つ品ぞろえや、オンラインを活用した買い物環境へのシフトなど、コロナ禍での商品ニーズ、消費行動の変化へ迅速に対応するとともに、「商品力の向上」として、P B商品の比率拡大、オリジナル商品開発による差別化を進め目的来店性を強化すること、そしてグループの共通重点課題である「デジタル戦略の推進」としてデジタルマーケティングを積極的に推進し、デジタル技術の活用による業務の効率化に取り組んでおります。新規出店につきましては、当第1四半期連結累計期間において、タイムは広島県にホームセンターを1店舗、アミーゴは岡山県に1店舗(ペット専門店)をそれぞれ開設しております。また、スクラップ&ビルドにより1店舗退店しております。これにより当第1四半期連結会計期間末の店舗数は276店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の連結営業収益は、403億6千3百万円(前年同期比0.8%増)、連結営業利益は23億7千9百万円(同13.2%減)、連結経常利益は24億9千7百万円(同12.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億1千万円(同8.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔ダイユーエイト〕

ホームセンター事業は、既存店ベースで、客単価が前年同期比で5.3%増加しましたが、来店客数が前年同期比で8.5%減少したことにより、既存店売上高は3.6%の減少となりました。

売上高における既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、従来より重点的に品ぞろえ、サービス地域一番店を目指し取り組んできた植物、園芸が天候と件もあったことで当第1四半期全体を通じて高い売上水準で推移いたしました。当第1四半期は2月に発生しました福島県沖地震の影響で家回りの補修特需が発生したことから工具金物、木材塗料等の売上が前年同期比で伸長しております。一方で、長期化するコロナ禍での巣ごもり需要により、観葉植物、花苗、家庭用除草関連用品等の売上が好調であったものの、前年はコロナ特需の発生により生活衛生用品、家庭用品、家電等を中心に売上指数が非常に大きかったため、当期の既存店売上高は前年同期比で減収という結果になりました。

E C部門につきましては、コロナ禍のもとで即日発送可能商品数を大幅に増加させるなどユーザーサービス機能を拡充させることにより前年同期比でE C取扱高を大きく伸ばすことができました。

利益面につきましては、P B商品の取扱いアイテム数の拡大と販売強化による収益率の改善に取り組んでおり、今後さらなる商品開発のスピードを高めオリジナル商品の拡大に重点的に取り組んで参ります。

コスト面につきましては、広告等の販売促進費や上昇傾向にある物流コストの負担増加の影響により販売費及び一般管理費が前年同期比で1.4%増加しております。

これらの結果、ダイユーエイトにおけるセグメント営業収益は124億2千4百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益(営業利益)は7億1千2百万円(前年同期比17.2%減)となりました。

〔タイム〕

ホームセンター事業は、既存店ベースで、客単価が前年同期比で5.9%増加しましたが、来店客数が前年同期比で9.7%減少したことにより、既存店売上高は4.3%減少となりました。

売上高における既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、ホームセンタータイムの主要な出店エリアである岡山県において緊急事態宣言が発出されたこともあって、外出自粛、巣ごもり需要により作業衣料、農業資材、エクステリア商品等の売上が前年同期比で伸長しております。また在宅時間が増加したことでペット用品については、ウェットフード・おやつフードなどのコミュニケーション商品を中心として前年同期比で好調な売れ行きとなっております。また人混みなどの“密”を避けるためだけでなく、在宅時間による運動不足を解消する目的で、自転車需要が増加したほか、キャンプ・バーベキュー等のレジャー関連商品の売上指数が増加いたしました。前年は新型コロナウイルス感染拡大に伴う、マスク・除菌関連商品、巣ごもり需要による木材・塗料等のD I Y商品、家具インテリア用品、キッチン・器具・調理用品等の家庭用品のコロナ特需があったことから、当期の既存店売上高は前年同期比で減収という結果となっております。

販売費および一般管理費につきましては、作業に応じた人員の配置、残業時間の削減を実施した他、折込みチラシ回数削減、レギュラーポイントセールの見直し、間接部門の経費削減を行うことで必要コストの圧縮を継続しております。

これらの結果、タイムにおけるセグメント営業収益は42億6千5百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1億6千9百万円（前年同期比39.3%減）となりました。

[ホームセンターバロー]

ホームセンター事業は、既存店ベースの客単価が前年同期比で6.6%増加しましたが、来店客数が前年同期比で10.9%減少したことにより、既存店売上高は5.0%減少となりました。

売上高における既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、前期第1四半期は新型コロナウイルスによるコロナ特需により生活衛生用品を中心に大幅な売上増加があったほか、ウィズコロナの巣ごもり需要によるDIY関連商品の売れ行きも好調でありました。当期は前期の状況を踏まえて強化するカテゴリに重点を絞り、既存店の部分改装を実施したことで、種苗部門104%（売上高前年同期比）、アウトドア・サイクル部門111%（同）、タイヤ部門118%（同）と売上高を伸ばさせることができました。また3店舗展開しているプロショップ「プロサイト」においても工具、木材等の資材需要が高く前年同期比を上回っている状況であります。

しかしながら、当第1四半期は、前年のコロナ特需の影響や売上指数の高まるゴールデンウィークや週末が天候に恵まれなかった影響もあって、第1四半期通期で既存店売上高が減収という結果となっております。

ペット事業においては、既存店売上高が前年同期比27.2%の増加となりました。前期はコロナウイルスの影響もあり営業自粛、生体販売自粛といった措置を講じましたが、当期は犬猫だけでなく小動物、観賞魚などの生体と用品の関連提案の強化に取り組んで参りました。また、トリミング、しつけ、医療などサービス機能を充実させたことにより、リピーター増加に寄与しております。

ネット販売専門の「eショップ店」は、重点商品の拡販に取り組んだこと、季節商品などお客様が必要とするときにタイムリーな商品提案を行い前年同期比で売上が伸びています。

販売促進策としては、デジタル販促を推進しました。プロサイト、アウトドア、ペットなど対象となるお客様に向けてSNSを活用した販促活動を行い、より効果的に商品、サービス情報を提供しております。

コスト面につきましては、チラシ販促の再開、部分改装の実施など前期に実施できなかった営業施策を実施したこともあって前年同期比で3.3%増加しております。

これらの結果、ホームセンターバローにおけるセグメント営業収益は156億8千5百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益（営業利益）は9億7千万円（前年同期比22.0%減）となりました。

[アミーゴ]

ペットショップアミーゴは、既存店ベースで来店客数が前年同期比で5.6%増加し、客単価が前年同期比で0.2%増加したことにより、既存店売上高は5.8%増加となりました。

当第1四半期連結累計期間につきましては、前期はコロナ禍における外出自粛により室内で飼育できるペット需要が高まり生体販売数が大きく伸びましたが、当期において犬猫の生体販売売上伸長率は前期よりも鈍化している状況であります。ウサギ、ハムスターなどのコンパクトアニマルについては依然として需要が高く生体、関連用品ともに前年同期比で売上高が伸びている状況であります。ペット用品につきましては季節物のペットウェアやベッド、ペットシーツなどの消耗品関連の販売が好調に推移しております。

当第1四半期は既存店2店舗の設備入替、店内レイアウトの変更など既存店活性化を目的として店舗改装を実施しており、改装店舗における売上高を前年同期比で伸ばさせることができました。なお当期は既存店舗の改装を5店舗計画しております。

また当第1四半期中にペットワールドアミーゴ岡南店（岡山県）を新規出店しており、既存出店エリアのさらなるドミナント化の深耕を進めております。

これらの結果、アミーゴにおけるセグメント営業収益は57億8千8百万円（前年同期比10.8%増）、セグメント利益（営業利益）は4億2千6百万円（前年同期比29.3%増）となりました。

[その他]

セグメント営業収益は42億9千8百万円（前年同期比27.8%増）、セグメント利益（営業利益）は8億6千5百万円（前年同期比118.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態としましては、総資産が798億5千2百万円、負債が537億7千1百万円、純資産は260億8千万円となりました。以上の結果、自己資本比率は31.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2021年4月12日付「2021年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表しました業績予想値に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,233	6,135
売掛金	1,599	2,280
たな卸資産	22,522	24,186
未収入金	5,515	6,795
その他	1,593	1,094
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	41,464	40,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,002	38,559
減価償却累計額	△21,483	△21,765
建物及び構築物(純額)	16,519	16,794
土地	4,133	4,133
リース資産	3,134	3,130
減価償却累計額	△1,472	△1,483
リース資産(純額)	1,661	1,647
その他	7,851	7,992
減価償却累計額	△5,999	△6,048
その他(純額)	1,851	1,943
有形固定資産合計	24,165	24,519
無形固定資産		
のれん	1,704	1,680
その他	5,283	5,263
無形固定資産合計	6,988	6,943
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,705	5,712
その他	2,212	2,229
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	7,872	7,897
固定資産合計	39,025	39,360
資産合計	80,489	79,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,813	9,444
電子記録債務	6,201	7,951
短期借入金	-	2,070
1年内返済予定の長期借入金	4,161	4,534
リース債務	693	687
未払法人税等	2,597	783
役員賞与引当金	49	1
ポイント引当金	432	435
災害損失引当金	85	19
その他	8,965	7,973
流動負債合計	35,999	33,901
固定負債		
長期借入金	13,678	14,209
リース債務	1,493	1,430
役員退職慰労引当金	116	119
退職給付に係る負債	1,122	1,143
資産除去債務	1,250	1,241
その他	1,762	1,725
固定負債合計	19,424	19,870
負債合計	55,423	53,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,004	2,011
資本剰余金	12,378	12,384
利益剰余金	9,513	10,522
自己株式	△1	△1
株主資本合計	23,894	24,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	52
退職給付に係る調整累計額	△29	△28
その他の包括利益累計額合計	29	24
新株予約権	32	19
非支配株主持分	1,109	1,120
純資産合計	25,066	26,080
負債純資産合計	80,489	79,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	39,077	39,385
売上原価	26,388	26,386
売上総利益	12,688	12,998
営業収入	983	977
営業総利益	13,672	13,976
販売費及び一般管理費	10,931	11,597
営業利益	2,740	2,379
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	0	1
受取手数料	120	125
その他	50	93
営業外収益合計	181	228
営業外費用		
支払利息	38	28
借入手数料	28	71
その他	6	11
営業外費用合計	73	110
経常利益	2,848	2,497
特別利益		
固定資産売却益	0	0
保険金収入	3	3
違約金収入	-	10
受取損害賠償金	-	4
その他	0	3
特別利益合計	3	22
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	4	3
減損損失	7	7
営業自粛による損失	99	-
その他	6	0
特別損失合計	117	11
税金等調整前四半期純利益	2,734	2,508
法人税、住民税及び事業税	1,103	800
法人税等調整額	△153	71
法人税等合計	950	871
四半期純利益	1,784	1,636
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,756	1,610

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
四半期純利益	1,784	1,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△6
退職給付に係る調整額	△8	1
その他の包括利益合計	3	△5
四半期包括利益	1,787	1,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,759	1,605
非支配株主に係る四半期包括利益	27	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイユー エイト	タイム	ホームセンタ ーパロー	アミーゴ	計		
営業収益							
外部顧客への 売上高	12,367	4,185	16,231	5,223	38,007	2,053	40,060
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	133	47	—	—	180	1,311	1,492
計	12,500	4,232	16,231	5,223	38,188	3,365	41,553
セグメント利益	859	279	1,245	329	2,714	396	3,111

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アレンザホールディングスにおける取引等のほか、アレンザホールディングス、ダイユーエイト、タイム及びアミーゴそれぞれの関係会社が含まれています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,714
「その他」の区分の利益	396
セグメント間取引消去	△332
のれんの償却額	△23
固定資産の調整額	13
その他	△28
四半期連結損益計算書の営業利益	2,740

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイユー エイト	タイム	ホームセンタ ーバロー	アミーゴ	計		
営業収益							
外部顧客への 売上高	12,287	4,215	15,681	5,788	37,972	2,390	40,363
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	136	49	4	—	190	1,908	2,099
計	12,424	4,265	15,685	5,788	38,163	4,298	42,462
セグメント利益	712	169	970	426	2,279	865	3,144

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アレンザホールディングスにおける取引等のほか、アレンザホールディングス、ダイユーエイト、タイム及びアミーゴそれぞれの関係会社が含まれています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,279
「その他」の区分の利益	865
セグメント間取引消去	△720
のれんの償却額	△23
固定資産の調整額	7
その他	△28
四半期連結損益計算書の営業利益	2,379

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。